



☆おしゃべり喫茶☆

みのり会



美九里地区 塚原コミュニティセンターでは月に 1 回、地域の高齢者の憩いの場である「おしゃべり喫茶 みのり会」が開催されています。

令和 4 年 6 月 23 日、美九里地区生活支援コーディネーターさんとお邪魔して、様子を伺ってきました！



開始は 10 時ですが、9 時半過ぎには殆ど皆さんが勢ぞろい！

皆と早くおしゃべりしたくて、うずうずして集まってしまうんだそうです。

(この日の参加者は 10 名でした。)

みんな集合したので、予定より早くみのり会が始まります！
まずは、筋トレ体操から。
DVD を観ながら真剣に取り組んでいます。

テレビ交換したので
よく観えますか。

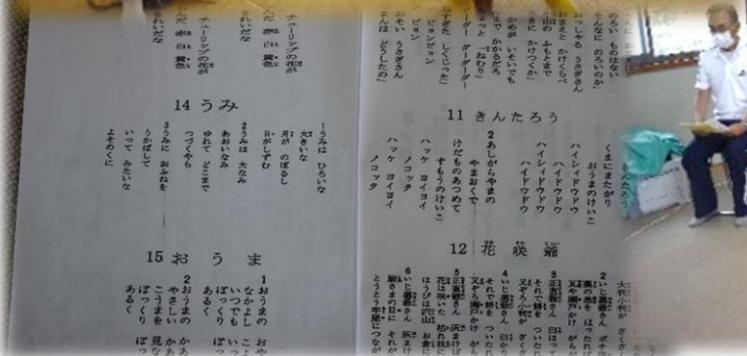




「みんな、いつまでもみのり会に出てこられるように、おうちでも筋トレ頑張ろう。」

身体を動かした後は、**歌の時間♪**

CDに合わせて、「たなばたさま」や「うみ」「ふるさと」等、懐かしの童謡を歌います。



「大きな声を出すと、風邪をひきにくいそうだよ。みんな遠慮しないで声出してね～」

その数なんと17曲！！

おうちで1人では歌うことは中々ないけれど、みんなで歌うのは楽しいものですね。

最後は皆でおしゃべりタイム♪

近況や昔の思い出話など、話が弾みます。

先日の雹被害にも話題が及び、「うちは、車がぼこぼこになっちゃったよ。」「家のガラスが割れた人もいたみたいだよ。」「網戸は大丈夫かい？張るくらいならできるから、遠慮しないで言ってね。」など、会話の中で自然と情報交換&困ってないかお互いに確認し合っていました。



私の知り合いの音楽バンド
ができるか考えています。



人数がふえて良
かったよ。

役員の方が、

「コロナ禍なので、お茶飲みながらの皆でおしゃべりはもうちょっと我慢してね。でも、ここはみんなの会だから、みんながやりたいことをやっていきましょう。こういうことをやりたいとか、ぜひ出してください。」と呼びかけると・・・

「(お茶飲みはできなくても) みんなの色んな情報を聞けて楽しいよ。」

「みんなの顔を見るだけでもいいんだよね。」

「おしゃべりすると、若くいられるから。」

「楽しいよね。」

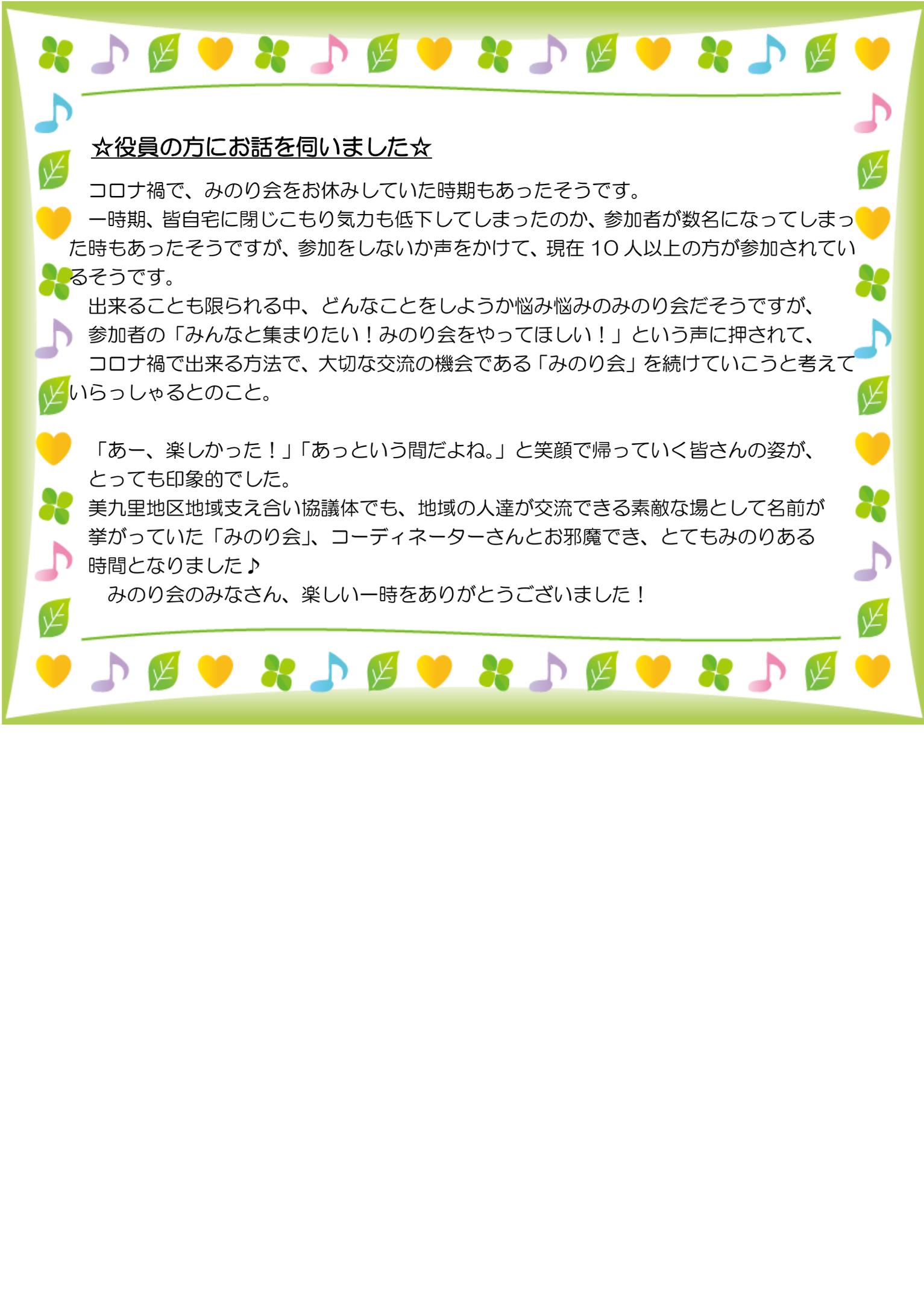
「やっぱり人と話できなけりゃね。出て歩かないとね。テレビが話し相手になっちゃう。」

そんな言葉が次々と聞こえてきました。

その時々で、やっていることは変わっていくけれど、

「みのり会が、みんなの憩いの楽しみの場」であることは、変わらない。

だからこそ、18年も続いていて、きっと、これからも続いていくのだと感じました。



☆役員の方にお話を伺いました☆

コロナ禍で、みのり会をお休みしていた時期もあったそうです。

一時期、皆自宅に閉じこもり気力も低下してしまったのか、参加者が数名になってしまった時もあったそうですが、参加をしないか声をかけて、現在 10 人以上の方が参加されているそうです。

出来ることも限られる中、どんなことをしようか悩み悩みのみのり会だそうですが、参加者の「みんなと集まりたい！みのり会をやってほしい！」という声に押されて、コロナ禍で出来る方法で、大切な交流の機会である「みのり会」を続けていこうと考えていらっしゃるとのこと。

「あー、楽しかった！」「あっという間だよね。」と笑顔で帰っていく皆さんの姿が、とっても印象的でした。

美九里地区地域支え合い協議体でも、地域の人達が交流できる素敵な場として名前が挙がっていた「みのり会」、コーディネーターさんとお邪魔でき、とてもみのりある時間となりました♪

みのり会のみなさん、楽しい一時をありがとうございました！